

**第1日目** 6月11日(木) **第1会場** 1F メインホール

**教育講演 1** 9:00~11:00

**アトピー性皮膚炎の治療～成功例, 反省例から学ぶアトピー性皮膚炎治療のリアル～**  
 .....オーガナイザー：波多野 豊 (大分大)  
 中原 剛士 (九州大)

[レベル：Basic / Advanced]

- 9:00~9:05 **イントロダクション～アトピー性皮膚炎の治療の基本的な考え方について～**
- EL1-1. 外用療法の工夫と限界のリアル**
- 9:05~9:30 小澤 麻紀<sup>12)</sup> 〈おざわ まき〉  
東照宮駅前皮膚科クリニック<sup>1)</sup>, 東北大学病院<sup>2)</sup>
- EL1-2. 生物学的製剤治療のリアル**
- 9:30~9:55 馬屋原孝恒 〈うまやはら たかつね〉  
川崎医科大学皮膚科
- EL1-3. 経口 JAK 阻害薬のリアル**
- 9:55~10:20 天野 博雄 〈あまの ひろお〉  
岩手医科大学医学部皮膚科学講座
- EL1-4. 小児アトピー性皮膚炎治療のリアル**
- 10:20~10:45 二村 昌樹<sup>12)</sup> 〈ふたむら まさき〉  
国立病院機構名古屋医療センター小児科<sup>1)</sup>,  
国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター先端医療研究部<sup>2)</sup>
- 10:45~11:00 **総合討論**

**EADV セッション** 12:30~14:30

座長：藤本 学 (大阪大)  
 椋島 健治 (京都大)

- EADV-1. Diagnosis and management of cutaneous lupus**
- 12:30~13:00 Branka Marinovic  
Department of Dermatology and Venereology, University Hospital Centre Zagreb,  
University of Zagreb School of Medicine, Zagreb
- EADV-2.**
- 13:00~13:30 Lidia Rudnicka  
Medical University of Warsaw, Warsaw
- EADV-3. JAK-inhibitors - expanding indications and off-label use in dermatology**
- 13:30~14:00 Curdin Conrad  
Lausanne University Hospital, Lausanne

**EADV-4. Decoding Sarcoidosis Granulomas by Single-Cell and Spatial Profiling : From Mechanisms to Clinical Translation**  
 14:00~14:30  
 Georg Stary<sup>1,2,3)</sup>  
 Department of Dermatology, Medical University of Vienna, Wien<sup>1)</sup>, CeMM Research Center for Molecular Medicine, Austrian Academy of Sciences, Wien<sup>2)</sup>, Christian Doppler Laboratory for Chronic Inflammatory Skin Diseases, Vienna<sup>3)</sup>

**特別講演 1** 14:50~15:50

座長：奥山 隆平（信州大）

**SL1. 遺伝子組換えヘルペスウイルスを用いたがんのウイルス療法の開発**  
 14:50~15:50  
 藤堂 具紀〈とうどう ともき〉  
 東京大学医科学研究所

**特別講演 2** 17:25~18:25

座長：奥山 隆平（信州大）

**SL2. がんを知り，がんを制する**  
 17:25~18:25  
 野田 哲生〈のだ てつお〉  
 （公財）がん研究会がん研究所名誉所長

**第 1 日目** 6月11日（木） **第 2 会場** 1F さくら

**教育講演 2** 9:00~11:00

**尋常性白斑の病態理解から治療Update**

.....オーガナイザー：鈴木 民夫（山形大名誉教授，大森駅前皮膚科）  
 河野 通浩（秋田大）

[レベル：Basic／Advanced]

- 9:00~9:04 **はじめに**
- 9:04~9:33 **EL2-1. 病態知識 Update**  
井上紳太郎〈いのうえ しんたろう〉  
岐阜薬科大学化粧品健康学研究室
- 9:33~10:02 **EL2-2. 白斑動物モデル研究の Update**  
岡村 賢〈おかむら けん〉  
山形大学皮膚科
- 10:02~10:31 **EL2-3. 臨床に関連した白斑研究 Update**  
種村 篤〈たねむら あつし〉  
山形大学医学部皮膚科学講座

**EL2-4. 治療 Update**

10:31~11:00 大磯 直毅 〈おおいそ なおき〉  
近畿大学奈良病院皮膚科

**ランチョンセミナー 1**

11:15~12:15

**尿路上皮癌治療薬パドセブの皮膚障害マネジメントについて**

.....座長：阿部理一郎（新潟大）

**LS1-1. 転移性尿路上皮癌治療におけるパラダイムシフト～注目される副作用マネジメント～**  
猪口 淳一 〈いのくち じゅんいち〉

琉球大学大学院医学研究科腎泌尿器外科学講座

**LS1-2. 症例から考えるパドセブ関連皮膚障害の診断と対応**

藤山 幹子 〈とうやま みきこ〉

国立病院機構四国がんセンター

共催：アステラス製薬株式会社

**教育講演 11**

12:30~14:30

**脱毛症の治療選択とその背景** .....オーガナイザー：大山 学（杏林大）  
下村 裕（山口大）

[レベル：Advanced/Update]

**EL11-1. 病理に基づくトリコスコピー所見の解釈と脱毛症治療のストラテジー**

12:30~13:00 木下 美咲 〈きのした みさき〉  
杏林大学皮膚科

**EL11-2. 男性型・女性型脱毛症の治療オプションとしての再生医療とその展望**

13:00~13:30 入澤 亮吉 〈いりさわ りょうきち〉  
東京医科大学皮膚科学分野

**EL11-3. 重症円形脱毛症に対する経口 JAK 阻害薬のリアルワールドデータ**

13:30~14:00 高橋 岳浩<sup>12)</sup> 〈たかはし たけひろ〉  
東北大学病院皮膚科<sup>1)</sup>, 東北大学ヘルスパン研究センター皮膚老化抑制研究分野<sup>2)</sup>

**EL11-4. 経口 JAK 阻害薬に抵抗性を示す難治性円形脱毛症の病態とマネージメント**

14:00~14:30 伊藤 泰介 〈いとう たいすけ〉  
浜松医科大学皮膚科

# 第1日目 6月11日(木) 第3会場 2F Room A

## 教育講演 3

9:00~11:00

“見逃さない” 接触皮膚炎診療の極意～パッチテスト新基準と最新アレルギー情報を実践に生かす～

.....オーガナイザー：矢上 晶子（藤田医大ばんだね病院総合アレルギー科）  
伊藤 明子（ながたクリニック皮膚科）

[レベル：Basic／Advanced]

9:00~9:04 はじめに

**EL3-1.** パッチテストの新しい判定基準を学ぶ

9:04~9:32 伊藤 明子<sup>1,2,3)</sup> 〈いとう あきこ〉  
ながたクリニック皮膚科<sup>1)</sup>，新潟大学大学院皮膚科学分野<sup>2)</sup>，  
藤田医科大学医学部総合アレルギー科<sup>3)</sup>

**EL3-2.** 金属アレルギー診療と管理，手引き 2025 を中心に

9:32~10:00 鷺尾 健 〈わしお けん〉  
神戸市立西神戸医療センター皮膚科

**EL3-3.** 化粧品等に含まれる香料アレルギー成分に関する海外・国内における現状

10:00~10:28 内山奈穂子 〈うちやま なほこ〉  
国立医薬品食品衛生研究所

**EL3-4.** 職業性皮膚疾患を見逃さない～手湿疹などから考える接触皮膚炎診療～

10:28~10:56 澤田 雄宇 〈さわだ ゆう〉  
産業医科大学皮膚科

10:56~11:00 おわりに

## ランチョンセミナー 2

11:15~12:15

座長：新熊 悟（奈良県立医大）

**LS2.** 新時代を迎えた表皮水疱症治療戦略

石河 晃 〈いしこう あきら〉  
東邦大学医学部皮膚科表皮水疱症再生治療学講座

共催：イシンファーマ株式会社

## 教育講演 12

12:30~14:30

小児アトピー性皮膚炎を全身の視点から捉え直す

.....オーガナイザー：小澤 麻紀（東照宮駅前皮膚科クリニック）  
吉田 和恵（国立成育医療研究センター）

[レベル：Basic／Advanced]

12:30~12:32 はじめに

- EL12-1.** アレルギー疾患の遺伝的背景と病態理解  
 12:32~13:01 玉利真由美〈たまり まゆみ〉  
 東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター分子遺伝学研究部
- EL12-2.** 小児アレルギー疾患と腸内マイクロバイオーーム  
 13:01~13:30 成田 雅美〈なりた まさみ〉  
 杏林大学医学部小児科学教室
- EL12-3.** 乳児アトピー性皮膚炎とアレルギーマーチ  
 13:30~13:59 吉田 和恵〈よしだ かずえ〉  
 国立成育医療研究センター皮膚科
- EL12-4.** アトピー性皮膚炎と神経発達症（発達障がい）～併存する ADHD を治すと改善する可能性はある～  
 13:59~14:28 鈴木 直光〈すずき なおみつ〉  
 筑波こどものこころクリニック
- 14:28~14:30 おわりに

**イブニングセミナー 1** 17:25~18:25

座長：森脇 真一（大阪医科薬科大）

- ES1.** 発作ゼロを目指す遺伝性血管性浮腫診療の新たな視点  
 葉山 惟大〈はやま これまさ〉  
 日本大学医学部皮膚科学系皮膚科学分野

共催：CSL ベーリング株式会社

**第 1 日目** 6月11日（木） **第 4 会場** 1F アネックスホール 2

**教育講演 4** 9:00~11:00

**HPV, ヘルペスウイルス 基礎と臨床update**

.....オーガナイザー：渡辺 大輔（愛知医大）  
 清水 晶（金沢医大）

[レベル：Advanced/Update]

- EL4-1.** 皮膚科診療におけるウイルス感染症—HPV 関連疾患を中心に—  
 9:00~9:30 清水 晶〈しみず あきら〉  
 金沢医科大学皮膚科
- EL4-2.** 産婦人科医から見た HPV による皮膚疾患とワクチンと免疫  
 9:30~10:00 笹川 寿之〈ささがわ としゆき〉  
 金沢医科大学産科婦人科
- EL4-3.** 性感染症ガイドライン 2026—性器ヘルペス徹底解説—  
 10:00~10:30 渡辺 大輔〈わたなべ だいすけ〉  
 愛知医科大学皮膚科

**EL4-4. 水痘・带状疱疹ウイルス感染と認知症**

10:30~11:00

下畑 享良〈しもはた たかよし〉  
岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野

**ランチョンセミナー 3**

11:15~12:15

座長：河野 通浩（秋田大）

**LS3. NF1 診療において見逃してはならない深部叢状神経線維腫：専門医連携の重要性**

西田 佳弘〈にしだ よしひろ〉  
名古屋大学医学部附属病院神経線維腫症総合医療センター

共催：アレクシオンファーマ合同会社

**教育講演 13**

12:30~14:30

**痤瘡の周辺を取り巻く問題** .....オーガナイザー：林 伸和（虎の門病院）  
黒川 一郎（明和病院）

[レベル：Basic/Advanced]

**EL13-1. 痤瘡様皮疹を生じるメカニズム（成長因子阻害薬を中心に）**

12:30~13:00

大日 輝記〈だいにち てるき〉  
香川大学医学部・医学系研究科皮膚科学

**EL13-2. 好酸球性膿疱性毛包炎の診断と治療**

13:00~13:30

野村 尚史〈のむら たかし〉  
京都大学大学院医学研究科皮膚科

**EL13-3. 酒皰，酒皰様皮膚炎，口囲皮膚炎の臨床像とマイクロバイオーム**

13:30~14:00

福屋 泰子〈ふくや やすこ〉  
東京女子医科大学皮膚科

**EL13-4. ざ瘡後の癍痕・ケロイド治療**

14:00~14:30

小川 令〈おがわ れい〉  
日本医科大学形成外科

**第 1 日目** 6月11日（木） **第 5 会場** 1F Room D

**教育講演 5**

9:00~11:00

**皮膚硬化性疾患（限局性強皮症，好酸球性筋膜炎，硬化性萎縮性苔癬）**

.....オーガナイザー：浅野 善英（東北大）  
茂木精一郎（群馬大）

[レベル：Basic/Advanced]

**EL5-1. 限局性強皮症の新ガイドラインと最新知見について**

9:00~9:30

渡邊 友也〈わたなべ ともや〉  
横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学

- EL5-2.** 好酸球性筋膜炎の新ガイドラインについて  
9:30~10:00 高橋 岳浩<sup>1,2)</sup>〈たかはし たけひろ〉  
東北大学病院皮膚科<sup>1)</sup>, 東北大学ヘルススパン研究センター皮膚老化抑制研究分野<sup>2)</sup>
- EL5-3.** 硬化性萎縮性苔癬の新ガイドラインについて  
10:00~10:30 住田 隼一〈すみだ はやかず〉  
東京大学皮膚科
- EL5-4.** 限局性強皮症など、顔面変形をきたす膠原病類似疾患に対する形成外科的治療  
10:30~11:00 岡崎 睦<sup>1)</sup>〈おかざき むつみ〉, 住田 隼一<sup>2)</sup>, 富岡 容子<sup>1)</sup>, 大場 純<sup>1)</sup>,  
張 眞宇<sup>1)</sup>  
東京大学大学院医学系研究科形成外科学分野<sup>1)</sup>,  
東京大学大学院医学系研究科皮膚科学分野<sup>2)</sup>

**ランチョンセミナー 4** 11:15~12:15

座長：山崎 研志 (ALOOB CLINIC & LAB)

- LS4.** 酒皰にどう使う？皮膚科診療での漢方治療の選択肢  
木村有太子〈きむら うたこ〉  
順天堂大学医学部皮膚科学講座

共催：クラシエ薬品株式会社

**教育講演 14** 12:30~14:30

**地域に根ざした高齢者皮膚科診療**

.....オーガナイザー：磯貝 善蔵 (国立長寿医療研究センター)  
丸山 隆児 (まるやま皮膚科クリニック)

[レベル：Advanced]

- 12:30~12:33 **皮膚科医の力を地域で活かす—高齢化社会での実践的アプローチ**
- EL14-1.** 皮膚科医がまだ知らない高齢者施設の足と爪の実態—医療と介護のあいだで見てきたこと—  
12:33~13:02 間宮 直子〈まみや なおこ〉  
大阪府済生会吹田病院看護部
- EL14-2.** フットチェック 2023 で見えたこと  
13:02~13:31 畑 康樹〈はた やすき〉  
神奈川はた皮膚科クリニック
- EL14-3.** 汎用サービスを用いたオンライン診療「なにコレ」  
13:31~14:00 浅井 俊弥〈あさい としや〉  
浅井皮膚科クリニック
- EL14-4.** 在宅診療医の視点から  
14:00~14:30 市橋 亮一〈いちはし りょういち〉  
医療法人かがやき総合在宅医療クリニック

## イブニングセミナー 2

17:25~18:25

美容施術における患者治療満足度の最大化：インテグレイテッド・スキンケアの意義 .....座長：坪内利江子（銀座スキンクリニック）

ES2-1. 高濃度ピュアビタミンCのインテグレイテッド・スキンケアにおける有用性

金 児盛〈きむ あそん〉

Clinic K

ES2-2. ポツリヌス毒素製剤とペプチド配合美容液の併用による包括的なアプローチの検討

小林 美幸〈こばやし みゆき〉

聖心美容クリニック熱海院

共催：日本ロレアル株式会社 スキンシューティカルズ

## 第1日目 6月11日(木) 第6会場 1F Room E

### 教育講演 6

9:00~11:00

マイクロバイームと皮膚疾患 .....オーガナイザー：森実 真（岡山大）  
松岡 悠美（大阪大）

[レベル：Advanced]

EL6-1. Skin microbiome-immune crosstalk in inflammatory dermatoses : from ecological dysbiosis to mechanistic checkpoints and therapeutic design

9:00~9:40

Anna Di Nardo

Department of Dermatology, University of California San Diego (UCSD), La Jolla, San Diego

EL6-2. 皮膚バリアにおけるマイクロバイームの役割

9:40~10:20

伊東 可寛〈いとう よしひろ〉

慶應義塾大学医学部皮膚科

EL6-3. 炎症性皮膚疾患とマイクロバイーム：皮膚エコシステムと腸-皮膚連関

10:20~11:00

中島沙恵子〈なかじま さえこ〉

京都大学皮膚科

## ランチョンセミナー 5

11:15~12:15

メラノーマ治療の現在地：Evidence & Experience

.....座長：内 博史（国立病院機構九州がんセンター）  
猪爪 隆史（千葉大）

LS5-1. 進行期 BRAF 変異陽性メラノーマ治療における分子標的薬の役割—エンコラフェニブ+ビニメチニブの使用経験を交えて—

木庭 幸子〈きにわ ゆきこ〉

信州大学医学部皮膚科学教室

**LS5-2. BRAF 陰性メラノーマ薬物療法における ICI の意義—ニボルマブ+イピリムマブ併用療法の役割と最適な患者選択—**  
 緒方 大〈おがた だい〉  
 宮崎大学医学部感覚運動医学講座皮膚科学分野

共催：小野薬品工業株式会社

**教育講演 15**

12:30~14:30

**メラノーマの病態解明Update**.....オーガナイザー：福島 聡（熊本大）  
 並木 剛（東京科学大）

[レベル：Update]

- EL15-1. Update on the Pathophysiology of Melanoma**  
 12:30~13:00 Dirk Schadendorf  
 Dermatology, University of Duisburg-Essen University Medicine Essen, Essen
- EL15-2. メラノーマに対する免疫療法 Update**  
 13:00~13:30 猪爪 隆史〈いのづめ たかし〉  
 千葉大学大学院医学研究院皮膚科学
- EL15-3. 日本人メラノーマにおける遺伝子異常の特徴とゲノム構造異常**  
 13:30~14:00 肥田 時征〈ひだ ときまさ〉  
 札幌医科大学医学部皮膚科学講座
- EL15-4. マウスモデルから白髪とメラノーマの起点を探る**  
 14:00~14:30 毛利 泰彰〈もうり やすあき〉  
 東京大学医科学研究所老化再生生物学分野

**イブニングセミナー 3**

17:25~18:25

**IL-17A/F阻害の意義を再定義する**  
**—乾癬・化膿性汗腺炎治療のパラダイムシフト—** ...座長：大塚 篤司（近畿大）  
 林 伸和（虎の門病院）

- ES3-1. Reaching New Heights: A Focus on Treatment Targets in PSO**  
 Vimal H. Prajapati  
 Dermatology Research Institute, University of Calgary
- ES3-2. 化膿性汗腺炎診療における包括的マネジメントと早期介入の重要性**  
 角田加奈子〈つのだ かなこ〉  
 岩手医科大学医学部皮膚科学講座

共催：ユーシービージャパン株式会社

# 第1日目 6月11日(木) 第7会場 2F Room B-1

## 教育講演 7

9:00~11:00

どう治す？なぜ治る？遺伝性皮膚疾患も治療の時代へ！

.....オーガナイザー：久保 亮治（神戸大）  
赤坂英二郎（弘前大）

[レベル：Advanced]

- EL7-1. 魚鱗癬や掌蹠角化症に対する最新治療**  
 9:00~9:30 乃村 俊史〈のむら としふみ〉  
 筑波大学医学医療系皮膚科
- EL7-2. 長島型掌蹠角化症，汗孔角化症，CHILD 症候群の最新の治療**  
 9:30~10:00 久保 亮治〈くぼ あきはる〉  
 神戸大学大学院医学研究科内科系講座皮膚科学分野
- EL7-3. 表皮水疱症の最新の治療**  
 10:00~10:30 夏賀 健〈なつが けん〉  
 北海道大学大学院医学研究院皮膚科学教室
- EL7-4. ガイドラインに基づくポルフィリン症の治療**  
 10:30~11:00 赤坂英二郎〈あかさか えいじろう〉  
 弘前大学大学院医学研究科皮膚科

## ランチョンセミナー 6

11:15~12:15

アトピー性皮膚炎全身療法の治療戦略 .....座長：谷崎 英昭（関西医大）  
田中 暁生（広島大）

- LS6-1. エビデンスから考えるイブグリース Q4W 投与の可能性**  
 鎌田 昌洋〈かまた まさひろ〉  
 帝京大学医学部皮膚科学講座
- LS6-2. 臨床試験とリアルワールドデータから考えるイブグリースの価値と至適患者像**  
 杉浦 一充〈すぎうら かずみつ〉  
 藤田医科大学医学部皮膚科学

共催：日本イーライリリー株式会社

**教育講演 16**

12:30～14:30

**蕁麻疹と血管性浮腫診療の進歩をトータルアップデートする**

.....オーガナイザー：田中 暁生（広島大）  
福永 淳（大阪医科薬科大）

[レベル：Basic]

- EL16-1. 改訂 蕁麻疹診療ガイドライン**  
12:30～12:55 福永 淳〈ふくなが あつし〉  
大阪医科薬科大学医学部感覚器機能形態医学講座皮膚科学
- EL16-2. 蕁麻疹の疫学, 合併症**  
12:55～13:20 齋藤 怜〈さいとう りょう〉  
広島大学大学院医系科学研究科皮膚科学
- EL16-3. 蕁麻疹の病態再考：IgE 依存性と非依存性機序**  
13:20～13:45 葉山 惟大〈はやま これまさ〉  
日本大学医学部皮膚科学系皮膚科学分野
- EL16-4. 血管性浮腫の新しい分類と鑑別の注意点**  
13:45～14:10 猪又 直子〈いのまた なおこ〉  
昭和医科大学医学部皮膚科学講座
- 14:10～14:30 **総合討論：蕁麻疹・血管性浮腫分野の臨床面と研究面における課題：疫学と予後を踏まえた診療について，病態を踏まえた治療について**

**イブニングセミナー 4**

17:25～18:25

座長：猪又 直子（昭和医大）

- ES4. 薬物アレルギーとアナフィラキシー —現状と課題—**  
山口 正雄〈やまぐち まさお〉  
帝京大学ちば総合医療センター第三内科（呼吸器）

共催：ヴィアトリス製薬合同会社 メディカル・アフェアーズ統括部

**第1日目 6月11日(木) 第8会場 2F Room B-2**

**教育講演 8**

9:00～11:00

**もう一歩先の皮膚外科手術（入門～中級）**

.....オーガナイザー：藤本 徳毅（滋賀医大）  
山崎 直也（国立がん研究センター中央病院）

[レベル：Basic]

- 9:00～9:02 **はじめに**
- EL8-1. 皮膚外科の基本**  
9:02～9:28 前田 泰広〈まえだ やすひろ〉  
滋賀医科大学皮膚科

- EL8-2.** リンパ節生検の手技の実際  
9:28~9:58 鹿毛 勇太〈かげ ゆうた〉  
国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科
- EL8-3.** 高齢者に対する皮膚外科手術  
9:58~10:28 結城 明彦〈ゆうき あきひこ〉  
新潟県立がんセンター新潟病院皮膚科
- EL8-4.** Mohs Micrographic Surgery  
10:28~10:58 George J. Hruza  
St. Louis University, St. Louis
- 10:58~11:00 終わりに

## ランチョンセミナー 7

11:15~12:15

**ATLの軌跡と診療の現在地** ..... 座長：藤本 学（大阪大）  
濱田 利久（国際医療福祉大成田病院）

- LS7-1.** 成人 T 細胞白血病の病態理解と治療の進歩  
阪本 貴士〈さかもと たかし〉  
京都大学大学院医学研究科血液内科学
- LS7-2.** ATL の皮膚病変とタルグレチンによる治療  
米倉健太郎〈よねくら けんたろう〉  
今村総合病院皮膚科

共催：株式会社ミノファーゲン製薬

## 教育講演 17

12:30~14:30

### 遺伝性疾患アップデート：身近になった遺伝学的検査

.....オーガナイザー：秋山 真志（名古屋大名誉教授/新百合ヶ丘総合病院）  
久保 亮治（神戸大）

[レベル：Basic/Advanced]

- EL17-1.** 保険収載された遺伝学的検査による診断の実際  
12:30~13:00 武市 拓也<sup>1,2)</sup>〈たけいち たくや〉  
名古屋大学大学院医学系研究科皮膚科<sup>1)</sup>，名古屋大学高等研究院<sup>2)</sup>
- EL17-2.** 保険収載された遺伝学的検査結果の読み解き方  
13:00~13:30 花房 宏昭<sup>1,2)</sup>〈はなふさ ひろあき〉  
神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野小児神経学・発達行動小児科学部門<sup>1)</sup>，神戸大学医学部附属病院遺伝子診療部<sup>2)</sup>
- EL17-3.** NF1 の診断と遺伝学的検査  
13:30~14:00 久保 亮治〈くぼ あきはる〉  
神戸大学大学院医学研究科内科系講座皮膚科学分野
- EL17-4.** 表皮分化疾患の診断と遺伝学的検査  
14:00~14:30 秋山 真志<sup>1,2)</sup>〈あきやま まさし〉  
名古屋大学名誉教授<sup>1)</sup>，新百合ヶ丘総合病院皮膚疾患研究所<sup>2)</sup>

遺伝性血管性浮腫 (HAE) を疑ってからを考える ……座長：江川 形平 (鹿児島大)  
天野 博雄 (岩手医大)

- ES5-1. ファミリーテストから見えてきた HAE 診療の実態～長崎における取り組み～  
竹中 基 (たけなか もとい)  
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学分野
- ES5-2. HAE の遺伝子診断と当科の取り組み  
肥田 時征 (ひだ ときまさ)  
札幌医科大学医学部皮膚科学講座

共催：鳥居薬品株式会社

第 1 日目 6月11日 (木) 第 9 会場 1F Room C-1

Oral Presentation in English 1

9:00~10:00

Basic research, Diagnosis, Treatment

……………Chairs : Gaku Tsuji (Kyushu University)  
Sayaka Shibata (The University of Tokyo)

- E1-1 (EP3-1) **Comparing 2 vs 1 cm margins in acral melanoma of the sole with Breslow thickness over 2 mm**  
○Shigeru Koizumi<sup>1,2)</sup>, Naoya Yamazaki<sup>3)</sup>, Yuki Ichigozaki<sup>4)</sup>, Hiroshi Kitagawa<sup>5)</sup>, Yukiko Kiniwa<sup>6)</sup>, Sayuri Sato<sup>7)</sup>, Toshihiro Takai<sup>8)</sup>, Reiichi Doi<sup>9)</sup>, Takamichi Ito<sup>10)</sup>, Yasuhiro Nakamura<sup>1)</sup>  
Department of Skin Oncology/Dermatology, Saitama Medical University International Medical Center, Saitama<sup>1)</sup>, Department of Dermatology, Chiba University, Chiba<sup>2)</sup>, Department of Dermatologic Oncology, National Cancer Center Hospital, Tokyo<sup>3)</sup>, Department of Dermatology and Plastic Surgery, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, Kumamoto<sup>4)</sup>, Department of Dermatology, Mie University, Mie<sup>5)</sup>, Department of Dermatology, Shinshu University, Matsumoto<sup>6)</sup>, Department of Dermatology, Sapporo Medical University School of Medicine, Sapporo<sup>7)</sup>, Department of Dermatology, Hyogo Cancer Center, Akashi<sup>8)</sup>, Department of Dermatology, Kurume University School of Medicine, Kurume<sup>9)</sup>, Department of Dermatology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka<sup>10)</sup>
- E1-2 (EP1-1) **Suppression of IL-23-Mediated Psoriasis-like inflammation by Regulatory B cell**  
○Kie Mizumaki, Motoki Horii, Miyu Kano, Takashi Matsushita  
Department of Dermatology, Faculty of Medicine, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University, Kanazawa
- E1-3 (EP1-2) **RNA-seq Reveals Subtype-Specific Pathways and Targets in Cutaneous Squamous Cell Carcinoma**  
○Masaoki Kawasumi  
Department of Dermatology, The Ohio State University College of Medicine, Columbus

- E1-4 (EP1-3) Apocynin Protects Keratinocytes from UVB-Induced Senescence**  
○Tuba Musarrat Ansary, Koji Kamiya, Md Razib Hossain, Mayumi Komine  
Department of Dermatology, Jichi Medical University, Shimotsuke
- E1-5 (EP1-4) JAK1 signaling is essential for mechanical itch sensitization in atopic dermatitis**  
○Ying Zuo<sup>1)</sup>, Sumika Toyama<sup>1)</sup>, Eriko Komiya<sup>1,2)</sup>, Soichiro Yoshikawa<sup>1)</sup>,  
Mitsutoshi Tominaga<sup>1)</sup>, Kenji Takamori<sup>1,3)</sup>  
Juntendo Itch Research Center (JIRC), Institute for Environmental and Gender Specific  
Medicine, Graduate School of Medicine, Juntendo University, Tokyo<sup>1)</sup>, Laboratory of  
Functional Morphology, Faculty of Pharmacy, Juntendo University, Tokyo<sup>2)</sup>,  
Department of Dermatology, Juntendo University Urayasu Hospital, Urayasu<sup>3)</sup>
- E1-6 (EP1-16) The PPIA-BSG Axis in Mast Cells : A Pro-Reparative Signal Lost in Diabetic Foot Ulcers**  
○Mingyang Wu<sup>1)</sup>, Haoze Shi<sup>2)</sup>  
ZhongDa Hospital, Nanjing<sup>1)</sup>, Hospital for Skin Diseases, Institute of Dermatology,  
Chinese Academy of Medical Sciences & Peking Union Medical College, Nanjing<sup>2)</sup>
- E1-7 (EP2-3) Persistent Severe Atopic Dermatitis Revealing Adult Hyper-IgE Syndrome with *ERBIN* Variant**  
○Meijuan Jin, Atsuko Sato, Koji Kamiya, Mayumi Komine  
Department of Dermatology, Jichi Medical University, Shimotsuke
- E1-8 (EP2-1) Trichoscopic Analysis of Kerion Celsi : Diagnostic and Therapeutic Implications**  
○Masaki Uchiyama<sup>1)</sup>, Tatsuro Maeda<sup>1)</sup>, Michi Ota<sup>1)</sup>, Risako Akasu<sup>2)</sup>,  
Masae Yoshida<sup>2)</sup>, Toshio Demitsu<sup>2)</sup>, Kazutoshi Harada<sup>1)</sup>  
Department of Dermatology, Tokyo Medical University, Tokyo<sup>1)</sup>, Department of  
Dermatology, Ageo Central General Hospital, Ageo<sup>2)</sup>

## Oral Presentation in English 2

10:00~11:00

Allergic disease, Tumor .....Chairs : Taku Fujimura (Tohoku University)  
Takuya Takeichi (Nagoya University)

- E2-1 (EP7-2) Influence of Topical Corticosteroids and Systemic Therapies on Metal Patch Test Results**  
○Toshiya Takahashi, Mayuko Amagai, Maki Ozawa, Kojiro Segawa,  
Tomoko Chiba, Yoshihide Asano  
Department of Dermatology, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai
- E2-2 (EP7-3) IgE-dependent anaphylaxis is regulated by the sphingolipids-CD300 binding in mast cells**  
○Risa Yamamoto<sup>1,2)</sup>, Kumi Izawa<sup>1)</sup>, Ayako Kaitani<sup>1)</sup>, Tomoaki Ando<sup>1)</sup>,  
Akie Maehara<sup>1)</sup>, Nobuhiro Nakano<sup>1)</sup>, Ko Okumura<sup>1)</sup>, Jiro Kitaura<sup>1)</sup>  
Atopy (Allergy) Research Center, Juntendo University Graduate School of Medicine,  
Tokyo<sup>1)</sup>, Department of Pediatrics Juntendo University Faculty of Medicine, Tokyo<sup>2)</sup>
- E2-3 (EP9-6) Immunotherapy-induced remodeling of immune hubs defined by dendritic cells**  
○Tomoyuki Minowa<sup>1,2)</sup>, Matthew Gubin<sup>2)</sup>, Stephanie Watowich<sup>2)</sup>, Hisashi Uhara<sup>1)</sup>  
Department of Dermatology, Sapporo Medical University, Sapporo<sup>1)</sup>, Department of  
Immunology, The University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston<sup>2)</sup>
- E2-4 (EP9-7) Efficacy of S-1 for advanced squamous cell carcinoma : A multicenter retrospective study**  
○Sadao Inoue<sup>1,2)</sup>, Ayano Maruyama<sup>3)</sup>, Yuki Yamamoto<sup>4)</sup>, Tatsuya Takenouchi<sup>5)</sup>,  
Soichiro Kado<sup>6)</sup>, Natsuko Sasaki<sup>7)</sup>, Takefumi Kadono<sup>8)</sup>, Yukiko Kiniwa<sup>9)</sup>,  
Hiroshi Kato<sup>10)</sup>, Yasuhiro Nakamura<sup>1)</sup>  
Department of Skin Oncology/Dermatology, Saitama Medical University International

Medical Center, Saitama<sup>1</sup>, Department of Dermatology, Dokkyo Medical University, Shimotsuga<sup>2</sup>, Department of Dermatology, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto<sup>3</sup>, Department of Dermatology, Wakayama Medical University, Wakayama<sup>4</sup>, Department of Dermatology, Niigata Cancer Center Hospital, Niigata<sup>5</sup>, Department of Dermatology, Jichi Medical University, Shimotsuke<sup>6</sup>, Department of Dermatology, University of Occupational and Environmental Health, Fukuoka<sup>7</sup>, Department of Dermatology, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki<sup>8</sup>, Department of Dermatology, Shinshu University, Matsumoto<sup>9</sup>, Department of Geriatric and Environmental Dermatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya<sup>10</sup>

**E2-5 (EP9-16) Anatomical Site Shapes the TME in Mycosis Fungoides via Stromal Signaling**

○Haoze Shi<sup>1</sup>, Mingyang Wu<sup>2</sup>, Jianfang Sun<sup>1</sup>, Hao Chen<sup>1</sup>  
Hospital for Skin Diseases, Institute of Dermatology, Chinese Academy of Medical Sciences & Peking Union Medical College, Nanjing<sup>1</sup>, Zhongda Hospital, Nanjing<sup>2</sup>

**E2-6 (EP9-4) Inactivation of cGAS-STING-TBK1 pathway is associated with the progression of melanomas**

○Takeshi Namiki<sup>1</sup>, Keiko Miura<sup>2</sup>, Masaki Sekine<sup>2</sup>, Yasuaki Mohri<sup>3</sup>,  
Emi K Nishimura<sup>3</sup>, Kentaro Tanaka<sup>4</sup>, Hiroki Mori<sup>5</sup>, Kenichi Ohashi<sup>2</sup>,  
Naoko Okiyama<sup>1</sup>  
Department of Dermatology, Institute of Science Tokyo, Tokyo<sup>1</sup>, Department of Pathology, Institute of Science Tokyo, Tokyo<sup>2</sup>, Division of Aging and Regeneration, Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo<sup>3</sup>, Department of Reconstructive Surgery, Institute of Science Tokyo, Tokyo<sup>4</sup>, Department of Plastic Surgery, Institute of Science Tokyo, Tokyo<sup>5</sup>

**E2-7 (EP9-8) Porocarcinoma in 35 Cases : Multimodal Imaging-Pathology Correlation and Prognostic Factors**

○Tokiyoshi Ikoma, Kazuyasu Fujii, Keisuke Goto, Takahisa Tozawa,  
Masashi Iwata, Kunihiko Shimada, Megumi Aoki, Shigeto Matsushita  
Department of Dermato-Oncology, National Hospital Organization Kagoshima Medical Center, Kagoshima

**E2-8 (EP9-9) Adjuvant locoregional IFN-beta versus surgery alone for stage II/III melanoma (JCOG1309)**

○Kenjiro Namikawa<sup>1</sup>, Dai Ogata<sup>1,2,3</sup>, Masayuki Yokoyama<sup>4</sup>, Yusuke Sano<sup>4</sup>,  
Haruhiko Fukuda<sup>4</sup>, Akira Takahashi<sup>1,5</sup>, Shusuke Yoshikawa<sup>6</sup>,  
Yasuhiro Nakamura<sup>7</sup>, Tatsuya Takenouchi<sup>8</sup>, Naoya Yamazaki<sup>1</sup>  
Department of Dermatologic Oncology, National Cancer Center Hospital, Tokyo<sup>1</sup>,  
Department of Dermatology, Saitama Medical University, Saitama<sup>2</sup>, Department of Dermatology, Miyazaki University Hospital, Miyazaki<sup>3</sup>, JCOG Data Center/Operations Office, National Cancer Center, Tokyo<sup>4</sup>, Department of Dermatologic Oncology, National Cancer Center Hospital East, Chiba<sup>5</sup>, Department of Dermatology, Shizuoka Cancer Center, Shizuoka<sup>6</sup>, Department of Skin Oncology/Dermatology, Saitama Medical University International Medical Center, Saitama<sup>7</sup>, Department of Dermatology, Niigata Cancer Center Hospital, Niigata<sup>8</sup>

## ランチョンセミナー 8

11:15~12:15

座長：山本 有紀（和歌山県立医大）

- LS8.** 「あと一步」に手が届く皮膚科漢方～標準治療と組み合わせるメリット～  
綾部 原子〈あやべ もとこ〉  
平塚駅前あやべ皮膚科

共催：株式会社ツムラ

## 一般演題 1

12:30~13:30

- 軟部組織疾患，上皮性腫瘍** .....座長：岩田 洋平（藤田医大）  
六戸 大樹（弘前大）

- O1-1 (P21-2) FH 腫瘍易罹患性症候群に伴う皮膚平滑筋腫**  
小野寺翔子<sup>1)</sup>〈おのでら しょうこ〉，西村 友紀<sup>1)</sup>，大畑美可子<sup>1)</sup>，光井 康博<sup>1)</sup>，  
正畠 千夏<sup>1)</sup>，宮川 史<sup>1)</sup>，浅田 秀夫<sup>1)</sup>，西村 伸隆<sup>2)</sup>，新熊 悟<sup>1)</sup>  
奈良県立医科大学皮膚科<sup>1)</sup>，奈良県立医科大学泌尿器科<sup>2)</sup>
- O1-2 (P28-2) 日本におけるメルケル細胞癌の治療実態と予後：36 施設後方視的検討**  
中野 英司<sup>1)</sup>〈なかの えいじ〉，中村 元樹<sup>2)</sup>，大江 秀一<sup>3)</sup>，川島 秀介<sup>4)</sup>，  
丸山 彩乃<sup>5)</sup>，小俣 渡<sup>6)</sup>，伊東 孝通<sup>7)</sup>，山本 有紀<sup>8)</sup>，金子 彰良<sup>9)</sup>，並川健二郎<sup>1)</sup>  
国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科<sup>1)</sup>，名古屋市立大学<sup>2)</sup>，  
大阪国際がんセンター<sup>3)</sup>，千葉大学<sup>4)</sup>，京都府立医科大学<sup>5)</sup>，静岡がんセンター<sup>6)</sup>，  
九州大学<sup>7)</sup>，和歌山県立医科大学<sup>8)</sup>，熊本大学<sup>9)</sup>
- O1-3 (P28-8) HER2 陽性進行期乳房外パジェット病に対するトラスツズマブ エムタンシンの有効性と安全性**  
新川紗由香<sup>1)</sup>〈あらかわ さゆか〉，内 博史<sup>2)</sup>，大江 秀一<sup>3)</sup>，竹之内辰也<sup>4)</sup>，  
森 章一郎<sup>5)</sup>，高井 利浩<sup>6)</sup>，吉川 周佐<sup>7)</sup>，竹村 亮<sup>8)</sup>，船越 建<sup>1)</sup>  
慶應義塾大学病院皮膚科<sup>1)</sup>，九州がんセンター皮膚腫瘍科<sup>2)</sup>，  
大阪国際がんセンター腫瘍皮膚科<sup>3)</sup>，新潟県立がんセンター新潟病院皮膚科<sup>4)</sup>，  
名古屋大学医学部附属病院皮膚科<sup>5)</sup>，兵庫県立がんセンター皮膚科<sup>6)</sup>，  
静岡県立静岡がんセンター皮膚科<sup>7)</sup>，慶應義塾大学病院臨床研究推進センター<sup>8)</sup>
- O1-4 (P28-3) 全身の基底細胞癌において深部切除マージンの決定に寄与する因子に関する後方視的検討**  
岡村咲由莉〈おかむら さゆり〉，飯野 志郎，関根 史織，長谷川 巧，  
笠松 宏至，馬場 夏希，尾山 徳孝，長谷川 稔  
福井大学
- O1-5 (P28-5) 全国がん登録からみた日本人の皮膚癌—高齢化と地域差に関する疫学的検討—**  
竹之内辰也<sup>1)</sup>〈たけのうち たつや〉，結城 明彦<sup>1)</sup>，林 政雄<sup>1,2)</sup>，高塚 純子<sup>1)</sup>  
新潟県立がんセンター新潟病院<sup>1)</sup>，富山大学<sup>2)</sup>
- O1-6 (P28-12) 乳房外パジェット病の発症部位による比較検討**  
中村 翠〈なかむら みどり〉，加藤 裕史，真柄 徹也，吉満 眞紀，  
中村 元樹，森田 明理  
名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科

**O1-7 (P28-25) 当科において経験した基底細胞癌 568 病変の臨床病理学的検討～多発例における組織型の比較を含めて**

中村 剛大〈なかむら たけひろ〉, 伊藤 崇, 山本 俊幸  
福島県立医科大学皮膚科

**O1-8 (P28-34) 根治切除不能な上皮系皮膚悪性腫瘍に対するニボルマブの使用経験**

安藤 貴代〈あんどう たかよ〉, 角 総一郎, 佐藤 篤子, 神谷 浩二, 小宮根真弓  
自治医科大学皮膚科

## 一般演題 2

13:30～14:30

**炎症性角化症, 膿疱症, 水疱症**……………座長: 林 周次郎 (獨協医大)

新熊 悟 (奈良県立医大)

**O2-1 (P15-1) 乾癬性関節炎を発症するリスクを考慮すべき乾癬患者の基礎的なリスク因子**

望月 潔隆<sup>1</sup>〈もちづき きよたか〉, A Pinter<sup>2</sup>, J G Gerwien<sup>3</sup>, S Sabatino<sup>3</sup>,  
E Haladyj<sup>3</sup>, A Brnabic<sup>3</sup>, I De La Torre<sup>3</sup>, A Watad<sup>4</sup>, A Zabotti<sup>5</sup>, D McGonagle<sup>6</sup>  
イーライリリー<sup>1</sup>, Uni Hosp Frankfurt<sup>2</sup>, Lilly<sup>3</sup>, Sheba Med Cen<sup>4</sup>,  
Azienda sanitaria Uni<sup>5</sup>, Leeds Bio Research Cen<sup>6</sup>

**O2-2 (P15-13) 当科で経験した乾癬患者のタピナロフクリーム 1% による皮膚炎 4 例の臨床的・病理学的検討**

杉原 夏子〈すぎはら なつこ〉, 福泉 翔華, 安藤 貴代, 岸本 恵美,  
神谷 浩二, 小宮根真弓  
自治医科大学皮膚科

**O2-3 (P15-14) 滴状乾癬に対する口蓋扁桃摘出術の有用性の検討**

山根 沙紀<sup>1</sup>〈やまね さき〉, 中森 美優<sup>1</sup>, 赤路 和哉<sup>1</sup>, 東山 真里<sup>1</sup>,  
小泉 敏三<sup>2</sup>, 林 美沙<sup>1</sup>  
日本生命病院皮膚科<sup>1</sup>, 日本生命病院耳鼻咽喉・頭頸部外科<sup>2</sup>

**O2-4 (P16-4) 当科において過去 18 年間に経験した掌蹠膿疱症 210 例の臨床的検討**

佐藤 真由〈さとう まゆ〉, 山本 俊幸  
福島県立医科大学皮膚科

**O2-5 (P16-1) アプレミラストを用いた掌蹠膿疱症 14 例の検討**

河合 祐弥<sup>1</sup>〈かわい ゆうや〉, 大園 綾花<sup>2</sup>, 名嘉真武國<sup>2</sup>, 古賀 浩嗣<sup>2</sup>  
大牟田市立病院皮膚科<sup>1</sup>, 久留米大学皮膚科学講座<sup>2</sup>

**O2-6 (P17-6) 新規外用遺伝子治療薬 B-VEC で潰瘍治療を行った潜在栄養障害型表皮水疱症の 4 例**

吉田 憲司〈よしだ けんじ〉, 吉濱 絵理, 篠原 朋, 種瀬 啓士, 石河 晃  
東邦大学医学部皮膚科学講座 (大森)

**O2-7 (P17-15) 天疱瘡の疾患活動性評価におけるビーズアッセイ法の有用性**

濱中 美希<sup>1,2</sup>〈はまなか みき〉, 石井 健<sup>2,3</sup>, 漆畑 真理<sup>2</sup>, 吉田 憲司<sup>2</sup>,  
石河 晃<sup>2</sup>  
東邦大学医療センター大橋病院<sup>1</sup>, 東邦大学医学部皮膚科学講座 (大森)<sup>2</sup>,  
東京歯科大学市川総合病院皮膚科<sup>3</sup>

**O2-8 (P17-18) 大規模データベースを用いた日本人表皮水疱症患者における合併症の検討**

廣保 翔<sup>1</sup>〈ひろやす しょう〉, 新熊 悟<sup>2</sup>, 藤森 郁男<sup>4</sup>, 河合 稜太<sup>3</sup>,  
吉田 寿子<sup>3</sup>, 新谷 歩<sup>3</sup>, 鶴田 大輔<sup>1</sup>, 高德 正昭<sup>4</sup>  
大阪公立大学皮膚病態学<sup>1</sup>, 奈良県立医科大学皮膚科学<sup>2</sup>, 大阪公立大学医療統計学<sup>3</sup>,  
Krystal Biotech Japan<sup>4</sup>

## イブニングセミナー 6

17:25~18:25

座長：長谷川 稔（福井大）

### ES6. SSc-ILD を中心とした CTD-ILD 診療の新展開

川畑 仁人〈かわはた きみと〉

聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病・アレルギー内科

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

## 第1日目 6月11日(木) 第10会場 1F Room C-2

### 一般演題 3

9:00~10:00

皮膚炎・湿疹.....座長：益田 浩司（京都府立医大）  
千貫 祐子（島根大）

#### O3-1 (P8-20) アトピー性皮膚炎重症度評価支援 AI の開発と有用性検討

山中 謙一<sup>1</sup>〈やまなか けんいち〉, Yagmur Pak<sup>2</sup>, 印田 吉宏<sup>1</sup>, 農見 俊明<sup>3</sup>,  
大垣 慶介<sup>3</sup>, 中村 洸樹<sup>1</sup>

ファイザー株式会社<sup>1</sup>, Pfizer Belgium<sup>2</sup>, エムスリー株式会社<sup>3</sup>

#### O3-2 (P8-14) 新薬上市に伴うアトピー性皮膚炎治療の変化：レセプトデータを用いた実態調査

岸田 百世<sup>1</sup>〈きしだ ももよ〉, 常深祐一郎<sup>2</sup>, 内海 沙織<sup>1</sup>, 五十嵐 中<sup>3,4</sup>

マルホ株式会社メディカルアフケアーズ部<sup>1</sup>, 埼玉医科大学皮膚科<sup>2</sup>,  
一般社団法人医療経済評価総合研究所<sup>3</sup>, 東京大学大学院薬学系研究科<sup>4</sup>

#### O3-3 (P8-12) 乳児アトピー性皮膚炎湿疹改善に伴う皮膚分子状態の評価：皮脂中 mRNA 解析技術の活用

齋藤麻耶子<sup>1</sup>〈さいとう まやこ〉, 志摩 恭子<sup>2</sup>, 岩村真恵子<sup>2</sup>, 深川 聡子<sup>3</sup>,  
桑野 哲矢<sup>2</sup>, 井上 高良<sup>2</sup>, 大矢 幸弘<sup>1,4,5</sup>, 山本貴和子<sup>1</sup>

国立研究開発法人国立成育医療研究センター<sup>1</sup>, 花王株式会社スキンケア研究所<sup>2</sup>,  
花王株式会社ヒューマンヘルスケア研究所<sup>3</sup>, 名古屋市立大学<sup>4</sup>,  
藤田医科大学ばんだね病院<sup>5</sup>

#### O3-4 (P8-13) ADCT と IGA からみた成人アトピー性皮膚炎の寛解導入率, 維持率

江畑 俊哉〈えばた としや〉, 早川 祐子, 林 欽  
ちとふな皮膚科クリニック

#### O3-5 (P8-3) 中等症~重症の小児アトピー性皮膚炎に対するネモリズマブ実臨床治療の有効性と安全性

高橋 洋平<sup>1</sup>〈たかはし ようへい〉, 萩野 哲平<sup>1</sup>, 佐伯 秀久<sup>2</sup>, 藤本 栄大<sup>3</sup>,  
神田奈緒子<sup>1</sup>

日本医科大学千葉北総病院皮膚科<sup>1</sup>, 日本医科大学皮膚科<sup>2</sup>,  
ふじもと皮膚科クリニック<sup>3</sup>

#### O3-6 (P8-6) アトピー性皮膚炎に対する amltelimab の EASI-90 持続効果：STREAM-AD 試験 52 週解析

井川 健<sup>1</sup>〈いがわ けん〉, Andrew Blauvelt<sup>2</sup>, Bruce Strober<sup>3,4</sup>,

April Armstrong<sup>5</sup>, Nina Magnolo<sup>6</sup>, Pei Li<sup>7</sup>, Charlotte Bernigaud<sup>7</sup>, Sonya Davey<sup>7</sup>,  
Kassim Rahawi<sup>7</sup>

獨協医科大学医学部皮膚科学講座<sup>1</sup>, Blauvelt Consulting<sup>2</sup>, Yale School of Medicine<sup>3</sup>,  
Central Connecticut Dermatology<sup>4</sup>, University of California Los Angeles<sup>5</sup>,

University Hospital Munster<sup>6)</sup>, Sanofi<sup>7)</sup>

**O3-7 (P8-16) 中等症から重症アトピー性皮膚炎に対する Rocatinlimab の有効性と安全性：ROCKET-IGNITE/HORIZON**

片岡 葉子<sup>1)</sup>〈かたおか ようこ〉, 荒井 貴大<sup>2)</sup>, 椛島 健治<sup>3)</sup>  
大阪はびきの医療センター<sup>1)</sup>, 協和キリン株式会社<sup>2)</sup>, 京都大学<sup>3)</sup>

**O3-8 (P8-18) デュピルマブにより治療したアトピー性皮膚炎患者 82 例の経過**

齋藤 怜〈さいとう りょう〉, 渡邊 遥, 佐々木 亘, 神垣 里菜,  
橋本 桃桂, 名桐 研人, 田中 暁生  
広島大学大学院医系科学研究科皮膚科学

**一般演題 4**

10:00~11:00

**蕁麻疹** .....座長：神戸 直智（兵庫医大）  
今西 久幹（大阪公立大）

**O4-1 (P9-2) レミブルチニブは慢性特発性蕁麻疹に関連する IgG 自己抗体レベルを低下させる (REMIX-1/2)**

高萩 俊輔<sup>1)</sup>〈たかはぎ しゅんすけ〉, M. Metz<sup>2)</sup>, S. Saini<sup>2)</sup>, 秀 道広<sup>2)</sup>,  
T. Rodosthenous<sup>3)</sup>, A. Avrameas<sup>3)</sup>, E. Jones<sup>3)</sup>, A. Auger-Sarrazin<sup>3)</sup>, Y. Jianping<sup>3)</sup>,  
C. Kollenda-Strunk<sup>4)</sup>, AS. Lindermann<sup>4)</sup>, A. Kilian<sup>4)</sup>, P. Budde<sup>4)</sup>, M. Bräutigam<sup>4)</sup>,  
HD. Zucht<sup>4)</sup>, B. Cenni<sup>3)</sup>, U. Gehrmann<sup>3)</sup>, N. Chapman-Rothe<sup>3)</sup>, S. Haemmerle<sup>3)</sup>  
JA広島総合病院皮膚科<sup>1)</sup>, 治験関連施設<sup>2)</sup>, Novartis<sup>3)</sup>, Oncimmune<sup>4)</sup>

**O4-2 (P9-1) レミブルチニブが有効な CSU 患者の半数以上は投与開始後 3 週までに疾患活動性が軽症となる**

福永 淳<sup>1)</sup>〈ふくなが あつし〉, Martin Metz<sup>2)</sup>, 秀 道広<sup>2)</sup>, Wei Lai<sup>2)</sup>,  
Sibylle Haemmerle<sup>3)</sup>, Nadine Chapman-Rothe<sup>3)</sup>, Christine-Elke Ortman<sup>3)</sup>,  
Giselle Mosnaim<sup>2)</sup>  
大阪医科薬科大学皮膚科<sup>1)</sup>, 治験関連施設<sup>2)</sup>, Novartis<sup>3)</sup>

**O4-3 (P9-4) 非典型寒冷蕁麻疹である寒冷依存性機械性蕁麻疹と全身性寒冷蕁麻疹を合併した 1 例**

今村 有沙〈いまむら ありさ〉, 吉谷 州太, 森脇 真一, 福永 淳  
大阪医科薬科大学病院皮膚科

**O4-4 (P9-9) 遺伝性血管性浮腫の発作に対するセベトラルスタットの治療反応に寄与する因子の解析**

福田 知雄<sup>1)</sup>〈ふくだ ともお〉, Jonathan A. Bernstein<sup>2)</sup>, James Hao<sup>3)</sup>,  
Matthew Iverson<sup>3)</sup>, Michael D. Smith<sup>3)</sup>, Paul K. Audhya<sup>3)</sup>, Erik Hansen<sup>3)</sup>,  
Nathan Teuscher<sup>4)</sup>, Marc A. Riedl<sup>5)</sup>  
埼玉医科大学総合医療センター<sup>1)</sup>, University of Cincinnati<sup>2)</sup>,  
KalVista Pharmaceuticals<sup>3)</sup>, Teuscher Solutions LLC<sup>4)</sup>, University of California<sup>5)</sup>

**O4-5 (P9-3) デュピルマブが奏効した血管浮腫を伴う慢性特発性蕁麻疹の 3 例**

大溝 郁也<sup>1)</sup>〈おおみぞ いくや〉, 伊藤 友章<sup>1)</sup>, 沼田 貴文<sup>1)</sup>, 大久保ゆかり<sup>1)</sup>,  
原田 和俊<sup>1)</sup>, 本橋 怜<sup>2)</sup>  
東京医科大学皮膚科学分野<sup>1)</sup>, 東京医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科分野<sup>2)</sup>

**O4-6 (P9-7) デュピルマブの慢性特発性蕁麻疹を有する 2-11 歳患者における安全性**

犬尾 千聡<sup>1)</sup>〈いぬお ちさと〉, M Ben-Shoshan<sup>2)</sup>, A Devonshire<sup>3)</sup>, J Ohayon<sup>4)</sup>,  
E Lawless<sup>5)</sup>, A Chalupka<sup>6)</sup>, A Radin<sup>5)</sup>, M Makhija<sup>6)</sup>  
神奈川県立こども医療センター<sup>1)</sup>, マギル大学健康センター<sup>2)</sup>,  
シンシナティ小児病院およびシンシナティ大学<sup>3)</sup>,

ハミルトンアレルギー科およびマクマスター大学<sup>1)</sup>, リジェネロン<sup>5)</sup>, サノフィ<sup>6)</sup>

**O4-7 (P9-10) 遺伝性血管性浮腫における経口セベトラルスタットによる急性発作時治療の有効性と患者満足度**

本田 大介<sup>1)</sup> 〈ほんだ だいすけ〉, M.E. O'Connor<sup>2,3)</sup>, M.E. Manning<sup>4)</sup>,  
I. Martinez-Saguer<sup>5)</sup>, S. Savic<sup>6)</sup>, D.F. Soteres<sup>7)</sup>, J. Hao<sup>8)</sup>, P. Bajcic<sup>8)</sup>, P. K. Audhya<sup>8)</sup>,  
R. Tachdjian<sup>9)</sup>  
千葉大学腎臓内科<sup>1)</sup>, Integrative Allergy clinic<sup>2)</sup>, Allergy & Asthma Institute<sup>3)</sup>,  
UA College of Medicine<sup>4)</sup>, HZRM Haemophilia Center<sup>5)</sup>, University of Leeds<sup>6)</sup>,  
Asthma & Allergy Associates<sup>7)</sup>, KalVista Pharmaceuticals<sup>8)</sup>, University of California<sup>9)</sup>

**O4-8 (P9-12) パラフェニルジアミン非含有染毛料によるアナフィラキシーの1例**

大川 智子 〈おおかわ ともこ〉, 金岡 美和  
横浜市立大学附属市民総合医療センター皮膚科

**ランチョンセミナー 9**

11:15~12:15

座長：川島 眞（東京女子医大名誉教授）

**LS9. 慢性特発性蕁麻疹診療におけるバイオシミュラー時代の治療選択**

葉山 惟大 〈はやま これまさ〉  
日本大学医学部皮膚科学系皮膚科学分野

共催：セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社

**一般演題 5**

12:30~13:30

**薬疹, 血管炎, 血管・リンパ管疾患** .....座長：濱口 儒人（金沢大）  
濱 菜摘（新潟大）

**O5-1 (P11-8) PD-1 陽性/CD3 陽性細胞比による紅斑丘疹型免疫関連有害事象と通常薬疹の鑑別**

岸本くるみ<sup>1)</sup> 〈きしもと くるみ〉, 生野 泰彬<sup>1)</sup>, 山田 昌弘<sup>1)</sup>, 小林 佳道<sup>1)</sup>,  
前田 泰広<sup>1)</sup>, 小池 隆弘<sup>1)</sup>, 山口 明彦<sup>1)</sup>, 高橋 聡文<sup>1)</sup>, 荒川 明子<sup>1,2)</sup>, 藤本 徳毅<sup>1)</sup>  
滋賀医科大学皮膚科学講座<sup>1)</sup>, ミュンヘン大学<sup>2)</sup>

**O5-2 (P11-13) HLA-B\*13 : 01 は重症型薬疹においてユニバーサルバイオマーカーとなり得る**

須永 知里<sup>1)</sup> 〈すなが ちさと〉, 日下部吉男<sup>2)</sup>, 福永 航也<sup>3)</sup>, 蒔田 泰誠<sup>3)</sup>,  
阿部理一郎<sup>4)</sup>, 渡辺 秀晃<sup>1)</sup>  
昭和医科大学横浜市北部病院皮膚科<sup>1)</sup>, 帝京大学薬学部薬物治療学<sup>2)</sup>,  
理化学研究所生命医科学研究センターファーマコゲノミクス研究チーム<sup>3)</sup>,  
新潟大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学<sup>4)</sup>

**O5-3 (P11-4) 薬剤性過敏症候群の経過中にギラン・バレー症候群などの種々の自己免疫疾患を発症した1例**

久保 斐嵩<sup>1)</sup> 〈くぼ ひだか〉, 倉田麻衣子<sup>1)</sup>, 山内 優美<sup>1)</sup>, 小林 英資<sup>1)</sup>,  
福山 雅大<sup>1)</sup>, 前田 瑞恵<sup>2)</sup>, 吉崎 彩織<sup>2)</sup>, 市川弥生子<sup>2)</sup>, 大山 学<sup>1)</sup>, 水川 良子<sup>1)</sup>  
杏林大学皮膚科学教室<sup>1)</sup>, 杏林大学脳神経内科教室<sup>2)</sup>

**O5-4 (P11-9) エピナスチンによる固定薬疹の1例**

山本 崇広 〈やまもと たかひろ〉, 高井彩也華, 端本 宇志, 佐藤 貴浩  
防衛医科大学校皮膚科学講座

- O5-5 (P11-11) 乳児に生じ壊疽性膿皮症との鑑別を要した臭化カリウムによる結節性臭素疹の1例**  
 平石りさ子<sup>1,2)</sup>〈ひらいし りさこ〉, 小野 竜輔<sup>1)</sup>, 望月 亮佐<sup>1)</sup>, 上田 拓耶<sup>2)</sup>,  
 久保 亮治<sup>1)</sup>  
 神戸大学医学部皮膚科<sup>1)</sup>, 神戸大学医学部小児科<sup>2)</sup>
- O5-6 (P12-2) 補体I因子欠損により四肢に紫斑・潰瘍を呈した3きょうだい例**  
 橋本可奈子<sup>1)</sup>〈はしもと かなこ〉, 福田 理紗<sup>1)</sup>, 田中 諒<sup>1)</sup>, 小椋 雅夫<sup>2)</sup>,  
 中舘 尚也<sup>3)</sup>, 石黒 精<sup>3)</sup>, 柳 久美子<sup>4)</sup>, 義岡 孝子<sup>5)</sup>, 要 匡<sup>4)</sup>, 吉田 和恵<sup>1)</sup>  
 国立成育医療研究センター皮膚科<sup>1)</sup>,  
 国立成育医療研究センター腎臓・リウマチ・膠原病科<sup>2)</sup>,  
 国立成育医療研究センター血液内科<sup>3)</sup>, 国立成育医療研究センターゲノム医療研究部<sup>4)</sup>,  
 国立成育医療研究センター病理診断部<sup>5)</sup>
- O5-7 (P12-5) 皮膚硬化型慢性移植片対宿主病関連多発血管腫におけるHIF-1 $\alpha$ を介した血管腫形成機序の検討**  
 小林 周平<sup>1)</sup>〈こばやし しゅうへい〉, 杉原 夏子<sup>1)</sup>, 福泉 翔華<sup>1)</sup>, 岡田 寛文<sup>1)</sup>,  
 角 総一郎<sup>1)</sup>, 佐藤 篤子<sup>1)</sup>, 神谷 浩二<sup>1)</sup>, 小宮根真弓<sup>1)</sup>, 福嶋 敬宜<sup>2)</sup>, 河田 浩敏<sup>2)</sup>  
 自治医科大学皮膚科<sup>1)</sup>, 自治医科大学病理診断科<sup>2)</sup>
- O5-8 (P12-14) シロリムス内服で著明に縮小した頸部囊腫状リンパ管腫**  
 中島 理子〈なかじま みちこ〉, 岡田 悦子  
 国立病院機構高崎総合医療センター

**一般演題 6**

13:30~14:30

**膠原病, 自己炎症性疾患** ..... 座長: 中島喜美子 (高知大)  
 尾山 徳孝 (福井大)

- O6-1 (P18-7) 東北大学皮膚科における皮膚筋炎の皮疹に対するアプレミラストの使用経験**  
 山本 惇〈やまもと じゅん〉, 高橋 岳浩, 畑 貴之, 瀬川康二郎,  
 高橋 拓矢, 瀬川雄一朗, 武藤 雄介, 高橋 隼也, 浅野 善英  
 東北大学皮膚科
- O6-2 (P18-3) First-in-class TLR7/8 阻害薬 Enpatoran による Lupus 皮膚症状の寛解導入**  
 篠田 現<sup>1)</sup>〈しのだ げん〉, Eric F. Morand<sup>2)</sup>, Victoria P. Werth<sup>3)</sup>,  
 Richard Furie<sup>4)</sup>, Sanjeev Roy<sup>5)</sup>, Ruth Fernandez-Ruiz<sup>6)</sup>, Summer Goodson<sup>6)</sup>,  
 Hans Guehring<sup>7)</sup>, Flavie Moreau<sup>6)</sup>, David R. Pearson<sup>8)</sup>  
 メルクバイオフーマ株式会社<sup>1)</sup>, Monash University<sup>2)</sup>, University of Pennsylvania<sup>3)</sup>,  
 Northwell Health<sup>4)</sup>, Ares Trading SA<sup>5)</sup>, EMD Serono<sup>6)</sup>, Merck KGaA<sup>7)</sup>,  
 University of Minnesota<sup>8)</sup>
- O6-3 (P18-2) 抗 NXP2 抗体陽性皮膚筋炎における抗体価推移と臨床症状, 病勢との相関解析**  
 生田目 拓<sup>1)</sup>〈なまため たく〉, 市村 裕輝<sup>1,2)</sup>, 遠藤 香凜<sup>1)</sup>, 小西 里沙<sup>1,3)</sup>,  
 飯田 忠恒<sup>1)</sup>, 沖山奈緒子<sup>1)</sup>  
 東京科学大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野<sup>1)</sup>,  
 東京女子医科大学医学部膠原病リウマチ内科学分野<sup>2)</sup>, 筑波大学医学医療系皮膚科<sup>3)</sup>
- O6-4 (P18-9) 川崎医科大学附属病院皮膚科におけるシェーグレン症候群 29 例の解析**  
 山根万里子〈やまね まりこ〉, 杉山 聖子, 佐々木雅子, 青山 裕美  
 川崎医科大学皮膚科

- O6-5 (P18-15) 特発性炎症性筋疾患における悪性腫瘍スクリーニングガイドラインの検証**  
 荒川 遥<sup>1)</sup>〈あらかわ はるか〉, 金岡 美和<sup>2)</sup>, 濱村優佳里<sup>1)</sup>, 茂木いづみ<sup>1)</sup>,  
 川村 飛翔<sup>1)</sup>, 乙竹 泰<sup>1)</sup>, 渡邊 友也<sup>1)</sup>, 山口 由衣<sup>1)</sup>  
 横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学<sup>1)</sup>,  
 横浜市立大学附属市民総合医療センター皮膚科<sup>2)</sup>
- O6-6 (P19-1) 汎発性膿疱性乾癬・妊娠性膿疱性乾癬における 4-HNE を介した酸化ストレスの関与**  
 太和田知里<sup>1)</sup>〈たわだ ちさと〉, 上田 陽子<sup>2)</sup>, 水谷 陽子<sup>1)</sup>, 臧 小宇<sup>1)</sup>,  
 田中加蓉子<sup>1)</sup>, 岩田 浩明<sup>1)</sup>  
 岐阜大学医学部附属病院皮膚科<sup>1)</sup>, 岐阜大学医学部附属病院産婦人科<sup>2)</sup>
- O6-7 (P19-9) 当科で経験した壊疽性膿皮症 101 例における, 悪化因子・誘発因子の検討**  
 則川 菜摘〈のりかわ なつみ〉, 山本 俊幸  
 福島県立医科大学皮膚科
- O6-8 (P19-2) Fibroblastic rheumatism と考えられた 1 例**  
 石塚友記子〈いしづか ゆきこ〉, 奥野 聡, 端本 宇志, 佐藤 貴浩  
 防衛医科大学校皮膚科学講座

## イブニングセミナー 7

17:25~18:25

### がん治療中も, 私らしく. 皮膚科診療に取り入れたいアピランス支援のヒント

.....座長: 高山かおる (埼玉県済生会川口総合病院)

- ES7-1. 医療者が知っておきたいアピランスケアについて, その背景と化粧法**  
 山崎多賀子〈やまざき たかこ〉  
 美容ジャーナリスト
- ES7-2. 皮膚科医が支えるがん患者の自分らしさ: 病態に基づく皮膚管理と心と見た目を整えるケア**  
 西澤 綾〈にしざわ あや〉  
 都立駒込病院

共催: 株式会社ファンケル

## 第 1 日目 6月11日 (木) 第 11 会場 1F Room 157

### 教育講演 9

9:00~11:00

#### エキスパートから学ぶ血管腫・血管奇形・下肢静脈瘤

.....オーガナイザー: 神人 正寿 (和歌山県立医大)  
 出月 健夫 (NTT 東日本関東病院)

[レベル: Basic / Advanced / Update]

- EL9-1. 最新の ISSVA 分類からみた血管腫・血管奇形 (稀な疾患や PUVA を中心に)**  
 9:00~9:30 島田 秀一〈しまだ しゅういち〉  
 熊本大学大学院生命科学研究部皮膚病態治療再建学講座

- EL9-2. 乳児血管腫の診断とコツ**  
9:30~10:00 工藤 恭子〈くどう きょうこ〉  
福岡市立こども病院皮膚科
- EL9-3. 皮膚科医が使うシロリムス**  
10:00~10:30 国本 佳代〈くにもと かよ〉  
和歌山県立医科大学皮膚科
- EL9-4. 下肢循環不全と下腿潰瘍～皮膚科医が行う下肢静脈瘤診療～**  
10:30~11:00 新原 寛之〈にいほら ひろゆき〉  
島根大学医学部皮膚科

**ランチョンセミナー 10** 11:15~12:15

**ニードルフリージェットインジェクターによる癬痕治療およびリジュビネーション領域での臨床経験共有**.....座長：船坂 陽子（池袋西口病院）

- LS10-1. ニードルフリージェットインジェクターを軸としたざそう癬痕治療について**  
鼻岡 佳子〈はなおか けいこ〉  
鼻岡けいこ皮フ科クリニック
- LS10-2. ニードルフリージェットインジェクターによる皮内薬剤送達治療の適応別臨床検討**  
竹井賢二郎〈たけい けんじろう〉  
天神竹井皮膚科・美容皮膚科

共催：BAZ BIOMEDIC JAPAN 株式会社

**教育講演 18** 12:30~14:30

**超初心者のための皮膚病理の基本的な見方と勉強法～皮膚病理診断に親しむために～**.....オーガナイザー：鶴田 大輔（大阪公立大）  
種瀬 啓士（東邦大大森病院）

[レベル：Basic]

- EL18-1. 皮膚病理診断のアルゴリズム**  
12:30~12:45 鶴田 大輔〈つるた だいすけ〉  
大阪公立大学大学院医学研究科皮膚病態学
- EL18-2. 代表的な炎症性皮膚疾患の病理**  
12:45~13:15 馬場 裕子〈ばば ゆうこ〉  
国際医療福祉大学市川総合病院皮膚科
- EL18-3. 代表的な皮膚腫瘍の病理**  
13:15~13:45 種瀬 啓士〈たねせ けいじ〉  
東邦大学大森病院皮膚科
- EL18-4. バーチャルスライドの使い方と実践**  
13:45~14:30 後藤 寛之〈ごとう ひろゆき〉  
大阪公立大学皮膚科

## イブニングセミナー 8

17:25~18:25

発汗学をリスクリングする ..... 座長：茂木精一郎（群馬大）

**ES8-1. 発汗学と発汗障害：基礎と臨床から再構築する診療**

福本 毅〈ふくもと たけし〉

京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学

**ES8-2. 発汗異常診療における実践的アプローチ—専門外来の経験から—**

岸部 麻里〈きしべ まり〉

旭川医科大学皮膚科学講座

共催：科研製薬株式会社

## 第 1 日目 6月11日(木) 第 12 会場 B2F プリンスホール

### 教育講演 19

12:30~14:30

#### 美容皮膚科の社会的課題

.....オーガナイザー：戸倉 新樹（中東遠総合医療センター/浜松医大名誉教授）  
矢口 均（大泉皮膚科クリニック）

[レベル：Basic]

**EL19-1. 社会的見地からみた美容皮膚科**

12:30~13:00

須賀 康〈すが やすし〉

順天堂大学医学部附属浦安病院皮膚科

**EL19-2. 美容医療に関する国の検討状況**

13:00~13:30

和泉 誠人〈いずみ まさと〉

厚生労働省医政局医事課

**EL19-3. 美容皮膚科と保険診療**

13:30~14:00

五十嵐敦之〈いがらし あつゆき〉

いがらし皮膚科東五反田

**EL19-4. 病院とクリニックでの美容皮膚科の違いについて**

14:00~14:30

長濱 通子<sup>1,2)</sup>〈ながはま みちこ〉

神戸ほくと病院皮膚科美容皮膚科<sup>1)</sup>, 神戸大学医学部附属病院皮膚科<sup>2)</sup>

**第1日目** 6月11日(木) **第13会場** B2F ゴールドルーム

**教育講演 10** 9:00~11:00

**美容医療の科学的基盤**.....オーガナイザー：山本 有紀（和歌山県立医大）  
福本 毅（京都府立医大）

[レベル：Advanced]

- EL10-1. しみの病態 update**  
9:00~9:30 船坂 陽子〈ふなさか ようこ〉  
池袋西口病院皮膚科
- EL10-2. 健康資産の表現系としての外見管理と EpiAge-R に基づくフローリッシング研究戦略**  
9:30~10:00 山田 秀和<sup>12)</sup>〈やまだ ひでかず〉  
近畿大学医学部皮膚科<sup>1)</sup>, 近畿大学アンチエイジングセンター<sup>2)</sup>
- EL10-3. 再生医療の現状と皮膚科領域における活用**  
10:00~10:30 尾見 徳弥<sup>12)</sup>〈おみ とくや〉  
クイーンズスクエアメディカルセンター皮膚科<sup>1)</sup>, 日本医科大学皮膚科<sup>2)</sup>
- EL10-4. 光老化の分子病態—真皮リモデリングの最新知見**  
10:30~11:00 清水 忠道〈しみず ただみち〉  
富山大学学術研究部医学系皮膚科

**教育講演 20** 12:30~14:30

**これだけは知って欲しい～乾癬性関節炎の診療の奥義～**  
.....オーガナイザー：朝比奈昭彦（東京慈恵会医大）  
奥山 隆平（信州大）

[レベル：Advanced]

- EL20-1. 乾癬性関節炎の病態—免疫学的機序のアップデート—**  
12:30~13:00 鎌田 昌洋〈かまた まさひろ〉  
帝京大学医学部皮膚科学講座
- EL20-2. 乾癬性関節炎の疫学・併存症と disease modification**  
13:00~13:30 藤田 英樹〈ふじた ひでき〉  
日本大学医学部皮膚科学系皮膚科学分野
- EL20-3. 乾癬性関節炎の鑑別疾患と所見の取り方**  
13:30~14:00 小寺 雅也〈こでら まさなり〉  
JCHO中京病院皮膚科
- EL20-4. 乾癬性関節炎の治療エビデンス—どんな場合に何を選択？—**  
14:00~14:30 亀田 秀人〈かめだ ひでと〉  
東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野

# 第1日目 6月11日(木) ポスター展示会場 別館 1F ニューホール

医学教育プロジェクト助成 採択施設研究発表・研究費ならびに研究基金受領者授与式および研究発表 16:00～17:15

## 2022年度医学教育プロジェクト助成 採択施設研究発表

### FZ. ビジネス手法・IoT 技術を活用した、アトピー性皮膚炎患者に対するパーソナライズドケアを支援するプラットフォームの開発

川崎 洋<sup>1,2)</sup>〈かわさき ひろし〉, 野村 彩乃<sup>1)</sup>, 芦崎 晃一<sup>1,3)</sup>, 鳥海友紀子<sup>1)</sup>,  
柳澤 幸子<sup>1)</sup>

慶應義塾大学医学部皮膚科<sup>1)</sup>,

理化学研究所生命医科学研究センター免疫器官形成研究チーム<sup>2)</sup>,

理化学研究所生命医科学研究センター予測医学特別プロジェクト開放系情報科学特別チーム<sup>3)</sup>

## 令和8年度日本皮膚科学会基礎医学研究費（資生堂寄付）受領者授与式

### ミトコンドリア機能異常が駆動する表皮バリア破綻機構の解明

今福 恵輔〈いまふく けいすけ〉

北海道大学病院皮膚科

### 生体防御システムによる毛包新生メカニズムの解明

小川 達也〈おがわ たつや〉

筑波大学医学医療系皮膚科学

### アトピー性皮膚炎における超硫黄レドックス代謝動態の解明と硫黄レドックス endotype の確立

高橋 隼也〈たかはし としや〉

東北大学病院皮膚科

### 老化に伴う頭皮細胞の男性ホルモン応答性（competence）変容のトランスクリプトーム解析

生野 泰彬〈いくの やすあき〉

滋賀医科大学医学部皮膚科学講座

### 空間トランスクリプトーム解析を用いた、CARD14 関連表皮分化疾患の病態メカニズムの解明

吉川 剛典〈よしかわ たけのり〉

名古屋大学大学院医学系研究科皮膚科学分野

### ネザートン症候群（SPINK5-sEDD）に対する新規 KLK5/7 阻害外用剤の開発とモデルマウスを用いた薬効解析

砂川 滉〈すながわ こう〉

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚科学

## 令和8年度日本皮膚科学会炎症性皮膚疾患研究費（アツヴィ助成）受領者授与式

### 炎症性微小環境ニッチに着目した乳房外パジェット病 in situ の制御

福田桂太郎〈ふくだ けいたろう〉

理化学研究所生命医科学研究センター皮膚恒常性研究チーム

令和 8 年度日本皮膚科学会皮膚医学研究基金（ロート製薬寄付）受領者授与式

円形脱毛症における全身-局所の免疫・代謝病態連関の網羅解析

高橋 岳浩<sup>1,2)</sup>〈たかはし たけひろ〉

東北大学病院皮膚科<sup>1)</sup>, 東北大学ヘルススパン研究センター皮膚老化抑制研究分野<sup>2)</sup>

皮下脂肪の炎症と抗炎症の切り替えを担う機構の検討

吉岡 華子〈よしおか はなこ〉

大阪大学大学院医学系研究科皮膚免疫疾患治療学共同研究講座

令和 7 年度日本皮膚科学会基礎医学研究費（資生堂寄付）受領者研究発表

SH-1. スティーヴンス・ジョンソン症候群/中毒性表皮壊死症における PANoptosis の病態解明と治療標的の探索

斎藤 勇輝〈さいとう ゆうき〉, 江口 正敏, 阿部理一郎

新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞医学専攻細胞機能講座皮膚科学分野

SH-2. 円形脱毛症の病態機序における性差についての検討

高橋 岳浩<sup>1,2)</sup>〈たかはし たけひろ〉

東北大学病院皮膚科<sup>1)</sup>, 東北大学ヘルススパン研究センター皮膚老化抑制研究分野<sup>2)</sup>

SH-3. 皮膚バリア破壊による皮膚腫瘍の増殖促進機構の解明

中村 貴之〈なかむら よしゆき〉

筑波大学医学医療系皮膚科

SH-4. 肥満細胞・好塩基球を介さない, IgE による痒み発生機序の解明

端本 宇志〈はしもと たかし〉

防衛省防衛医科大学校医学教育部医学科皮膚科学講座

SH-5. 免疫療法下メルケル細胞癌における三次リンパ様構造の空間的オミクス解析

中村 元樹〈なかむら もとき〉

名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科

SH-6. 腫瘍拒絶抗原特異的 CD8+T 細胞マーカーに基づく PD-1 阻害薬治療の効果予測

平野 智子〈ひらの ともこ〉

京都大学大学院医学研究科皮膚科

令和 7 年度炎症性皮膚疾患研究費（アツヴィ助成）受領者研究発表

AB. 乾癬の病変部非病変部の境界を形成する因子の解明

吉岡 華子〈よしおか はなこ〉

大阪大学大学院医学系研究科皮膚科

令和 6 年度日本皮膚科学会皮膚医学研究基金（ロート製薬寄付）受領者研究発表

RT-1. ロリクリンによる獲得免疫調節機構の解明

石塚 洋典〈いしつか ようすけ〉

大阪大学大学院医学系研究科皮膚免疫疾患治療学共同研究講座

RT-2. 炎症性皮膚疾患の次世代治療開発：AI と臨床ビッグデータの融合

酒井 貴史〈さかい たかし〉

大分大学医学部皮膚科学講座